

都市と交通最終レポート

C125048A 遠藤すずか

A)他チームの発表を聞いて、自チームと比較し、自チームになかった参考になった点をまとめる。はじめに、オムライスチームと比較すると、自チームと同じで事故の数にも着目しているが、オムライスチームはさらに事故の重さと影響にフォーカスしている点が自チームでは出なかった発想で参考になった。次に、FOODS チームと比較すると、公共交通機関の利用者を増やすには、という課題の設定は自チームと近いが、仮想通貨というシステムを利用するという解決策を提案しており、自チームではその発想が出てこなかったもので、参考になった。また、解決策のスライドでは図を作っていて、イラストや写真なども具体的に想像できて見やすいけど、図を作ることで言葉と合わせて理解が深まるので見やすいなと思い参考になった。次に、チーム Variety と比較すると、原因の分析が細かく、原因の種類ごとに目印をつけていて、関連性のあるものを見つけやすくなるよう工夫しているところが参考になった。次に、頭文字 IKT チームと比較すると、複数の課題に、一つのまとまった解決策を提示しており、実行のしやすなども考えられている点が参考になった。次に、C4 チームと比較すると、具体的な数値を使って説得力が増していると思った。自チームでは数値を使っていなかったのが参考になった。また、細かい色分けがされていて、見やすい資料になっていると思った。そこも参考になった。次に、ほんまに本間チームと比較すると、このチームもグラフを使っており、さらに、グラフの中に書き込みがあることでわかりやすくなっていると思って参考になった。最後に、だんだんチームと比較すると、いくつかのスライドに、まとめやポイントなどが赤字で書かれており、見やすい資料になっていると思った。

B)自チームの解決策に、他チームの参考になった点を盛り込んでいく。まず、自チームは、公共交通機関を利用してもらうにはどうしたらいいかを課題として設定した。地方の交通における問題を解決するには公共交通機関の発展が不可欠だと思ったためである。この課題の解決策として、バスの決済方法を増やす、バス定期券の発行、主要施設へのシャトルバス開通、公共交通の割引、高齢者向けに免許返納している人に対する割引・乗り放題、公共交通機関の個室の設置、駅に Wi-Fi を飛ばす、机椅子を置き待ち時間を潰せる場所を作る、これら 8 つを解決策としてあげた。発表した他チームの中で公共交通機関の利便性をあげるということに触れていたのは、FOODS チーム、C4 チーム、たんたんチームの 3 チームである。FOODS は、バスに仮想通貨を導入し、利用者と商業施設をつなぐことを解決策として提案している。この発想は自チームにはなかったものなので、取り入れたいと思う。仮想通貨は自チームが解決策として考えた決済方法を増やす、に当てはめて考えたいと思う。C4 チームは、主要施設や商業施設を一か所に集中させ、その路線を整理し、乗り換えやすく使いやすい動線にするという解決策を提案している。この発想は自

チームのシャトルバス開通に盛り込めると思う。たんたんチームは、デマンド交通・コミュニティバスの運行、タクシー補助制度をつくるという解決策を出していた。自チームが提案しているものに近いものがないので、この二つをそのまま盛り込もうと思う。これらを整理すると、地方都市における交通の問題を総合的に解決するためには、主要な施設などをできるだけ密集させ、乗りやすくして、バスに新たな決済方法を導入して、利用者と商業施設を繋ぎ公共交通の利用を促し、バスの装備を良くしてさまざまな人が乗りやすくする。また、バスでは補いきれない交通の需要をタクシーやデマンド交通で補うことで、総合的に解決できると考えた。しかし、費用面での実現の難しさや、実際は求められていない解決策もある可能性があるため、ニーズを調べたりデメリットメリットをきちんと考える必要がある。

① このレポートの採点結果の返却を希望します。

② Suzuka0509e@icloud.com